

<第2回アンケート>

「高齢期における地域活動等の意向」について

アンケート結果のポイント

- 定年退職後をどのように送りたいかについては、「趣味・スポーツ活動」「地域活動、社会貢献のための活動（ボランティア）」「旅行や遊び」がそれぞれ約5割以上
 - ・自分の定年退職後（又は定年がない場合は65歳以降）をどのように送りたいかについて、複数回答で聞いたところ、「趣味・スポーツ活動」は、約56%であり、「地域活動、社会貢献のための活動（ボランティア）」は、約51%、「旅行や遊び」は、約49%であった（Q9 N=371）。
- 定年退職後に地域活動等に「参加したい」人は約8割
 - ・自分の定年退職後に地域活動等（又は定年がない場合は65歳以降）に参加したいと思うか聞いたところ、「積極的に参加したい」「ある程度参加したい」と回答した人は、約79%であった（Q13 N=371）。
- 定年退職後に地域活動等に「参加したい」と思う人の約6割は、「社会貢献・福祉的活動」に興味がある
 - ・自分の定年退職後に地域活動等に「積極的に参加したい」・「ある程度参加したい」と回答した人にどのような活動に興味があるか聞いたところ、「社会貢献・福祉的活動」と回答した人は、約57%であった（Q14 N=292）。
- 地域活動等へ参加を希望する場合があると良い支援・サービスは、「活動を行っている団体等の紹介」「活動に関する講演会やイベントの開催」「相談窓口の拡充、活動団体とのマッチング支援」がそれぞれ4割以上
 - ・自分の定年退職後（又は定年がない場合は65歳以降）に、地域活動等へ参加を希望する場合にどのような支援・サービスがあると良いと思うかについて、複数回答で聞いたところ、「活動を行っている団体等の紹介」は、約51%であり、「活動に関する講演会やイベントの開催」は、約44%、「相談窓口の拡充、活動団体とのマッチング支援」は、約40%であった（Q16 N=371）。
- 定年退職後に向けて、あるとよい、進めるとよいと思う移動・外出支援策は、「コミュニティバスの整備」「公共交通の定額利用サービスの普及促進」がそれぞれ約5割、「福祉のまちづくりの普及促進」が約4割
 - ・定年退職後（又は定年がない場合は65歳以降）に向けて、あるとよい、進めるとよいと思う移動・外出支援策について、複数回答で聞いたところ、「コミュニティバスの整備」は、約49%であり、「公共交通の定額利用サービスの普及促進」は、約48%、「福祉のまちづくりの普及促進」は、約36%であった（Q17 N=371）。

今回のアンケート概要

テーマ： 「高齢期における地域活動等の意向」
期間： 令和2年11月20日（金曜日）正午から令和2年12月4日（金曜日）正午まで
方法： インターネット（モニターがアンケート専用サイトから回答を入力する）
対象モニター数： 500名
有効回答数： 371名
回答率： 74.2%

今回のアンケート回答者属性

※有効回答数371人を100%としたときの割合

性別	男性	176	47.4%
	女性	195	52.6%

年代別	20代以下	12	3.2%
	30代	17	4.6%
	40代	68	18.3%
	50代	113	30.5%
	60代	76	20.5%
	70歳以上	85	22.9%

職業別	会社員	105	28.3%
	団体職員（NPO含む）	12	3.2%
	自営業	26	7%
	福祉サービス提供事業経営者	4	1.1%
	福祉サービス提供事業従事者	52	14%
	教職員	1	0.3%
	学生	4	1.1%
	主婦	64	17.3%
	無職	61	16.4%
その他	42	11.3%	

※別紙の集計結果は百分率（%）で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。
そのため、合計が100.0%にならないものがある。